

## 平成29年度第3回千葉競輪場開催業務等包括委託審査委員会議事録（要旨）

1 日 時 平成30年1月17日(水)午後1時30分～午後2時30分

2 場 所 千葉競輪場4階多目的室

3 出席者 (委員)

篠崎委員長、藤本委員、高岡委員、山本委員

(事務局)

杉戸経済部長、池原課長、鴻崎所長、酒井所長補佐、山本主任主事、細谷

(日本写真判定株式会社、以下「JPF」)

吉川部長、荻原統括マネージャー、邊田所長、石塚所長代理、高橋所長代理

4 議 題

(1)包括業務委託の進捗状況モニタリングについて(10月～12月)

(2)その他

- ①競輪場再整備について
- ②事務所の移転について
- ③会議議事録の公開について

5 会議経過

(篠崎委員長)

議題(1)包括業務委託の進捗状況モニタリングについて、JPF に説明を求める。

(JPF)

(市営競輪の開催について)

・千葉競輪開設記念開催後の第10回から第12回までの市営競輪 3 開催を「ファイナルシリーズ」と称し実施した。

1. 第10回千葉市営競輪デイリースポーツ杯日本名輪会カップフラワーライン賞 F I  
(10/23～25)

・本場及びインターネット利用者向けに多種イベントを開催、8億円の自社目標に対し、10億円以上の売上げを記録した。

2. 第11回千葉市営競輪F II ガールズ(11/27～29)

・チャリティーで地元競輪選手のサイン入り T シャツ等を販売する企画を軸に、来場者及びスピードチャンネル向けに、地元ガールズ選手に、通常の自転車の話だけでなく普段の素顔に迫るインタビューを実施。前回のガールズ開催同様、ハイタッチ会を実施した。

- ・自社目標1億円のところ1億7千万円の売り上げを記録した。
- 3. 第12回千葉市営競輪日刊スポーツ杯東出剛メモリアルカップF I (12/15～17)
  - ・千葉市消防音楽隊によるミニコンサートを開催した。
  - ・インターネット利用者向けにニコニコ動画による競輪情報チャンネル「チャリチャン」を放映した。メインスタンド1階にスタジオを設置し、来場ファンにも楽しめる形式にした。
  - ・スピードチャンネルの放送では、地元ガールズ選手にインタビューを行った。
  - ・生放送で、地元の中村選手や山中選手が出演して、視聴者プレゼントを行った。
  - ・開催2日目に、競輪と自転車競技の融合を図るべく、初めて競輪開催期間中に、自転車競技に近い「千葉サイクルクラブカップ」を開催して、自転車競技のアピールをした。
  - ・最終日の来場者は、今期最高の3,025人を数え、3日間で6,000人を超えた。1日平均で、10月の千葉競輪開設記念を上回る来場者数となった。
  - ・表彰式は、S級・A級・L級合同で行い、神谷副市長や滝澤正光日本競輪学校校長が参列した。
  - ・「千葉競輪ファイナル式典」では、千葉支部選手団によるお礼の挨拶とプレゼントの投げ込みを行った。
  - ・式典終了後にバンクウォークを実施した。500名を越す多くのファンがバンク内を歩き、打鐘に長蛇の列を作るなど、参加者全員で最後の500メートルバンクを楽しんだ。

#### (イベント関係)

- ・10月9日(祝)体育の日に、千葉テレビ主催のキャラクター運動会に参加した。千葉競輪場公式キャラクター「ライモン君」が走るなど、キャラクターを通して千葉競輪のPRを行った。
- ・11月と12月に、一般サイクリストにバンクを開放する千葉サイクルクラブ活動を実施した。特に11月19日の実施回については、さらに千葉けいりん農園企画の収穫祭を合わせたバーベキュー企画を実施した。
- ・11月3日(祝)文化の日に開催した自転車競技大会「第2回 JBCF 幕張新都心クリテリウム」(千葉市共催)に参加。競輪場PRブースを出展した。(20人参加)
- ・11月3日(祝)文化の日開催の「市民産業まつり」(千葉市主催)に、競輪場PRブースを出展した。(300人参加)
- ・東京六大学対抗自転車競技大会に千葉競輪場を貸し出した。出場選手の応援客が多く、自転車競技に興味はあるが競輪場になじみがない方々にPRを行った。
- ・11月19日(日)に「スペシャルオリンピックス日本千葉支部」(有森裕子理事の全世界的な知的障害者支援団体)主催の自転車体験会を、競輪場で実施した。
- ・11月25日(土)に「キッズバイク大会」、12月10日(日)に「タンデムバイク走行会」、12月16日(木)に「千葉サイクルクラブカップ」を実施した。

(統制業務)

- ・年末に開催されたKEIRINグランプリ2017の売上向上を図るため、前日発売に加えて前々日発売を実施した。ほぼ前年並みの車券売上額が確保できた。
- ・JPF で制作している出走表にスマートフォン用の QR コードを記載した。読み込むことにより、千葉競輪場のホームページの情報欄に接続できるようにした。今後も、リンクするホームページの情報内容を拡充していく。

(売上事業計画進捗)

- ・平成29年度の千葉市営競輪は、昨年12月で全て開催が終了した。
- ・千葉市の売り上げ目標は104億円だったが、110億円の売り上げとなった。要因として、千葉500バンクが最後というファンの心理作用、電話、インターネットを中心に、キャッシュバックキャンペーンを行った効果が出たと思われる。
- ・昨年度との売上比較に関しては減少しているが、12億円～20億円程度の売上が見込める「ジャパンカップ」の開催がないことから10億円減の104億円と予測したが、4億円減の110億円となったことは、健闘したと考えている。
- ・FⅡ開催の電話・インターネット投票においても、千葉競輪開設記念及び FⅠ開催と同様のキャンペーンを実施してきたことが、今年度の好結果に結びついたと考えている。
- ・場外収入については、全国的に場外開催の売上が厳しく、千葉競輪も同様に厳しい状況となった。ファンが高年齢化しており、既存のお客様に加えて、新規顧客確保のための PR を考えていく。

(今後の計画)

- ・千葉競輪場は、新施設完成までの間、専用場外車券売場(以下、サテライト)と同じような立場になる。今後は、他のサテライトと同等のサービスを提供することを検討する必要がある。
- ・現在、平成30年8月を目安に現在の2場併売から3場併売への移行を検討している。システムの変更などが必要になるほか、追加する1場分のモニターの増設等が必要になる。
- ・3場併売にすることにより、購入するレースの選択肢が広がるため、売上げの増加につながると考えている。

(篠崎委員長)

議題(1) 包括業務委託の進捗状況モニタリングについて、市のモニタリング結果を市に説明を求める。

(事務局 酒井所長補佐)

- ・受託者から提出のあった平成29年度開催事業実施計画にもとづき計画通り事業を実施していることを確認した。

- ・開催ごとに、10月から12月までの開催業務実施計画書及び開催業務実施報告書の提出を受けて、市営競輪の開催業務について検査を行い、実施計画通り開催業務を良好に遂行していることを評価した。
- ・今年度の市営競輪の開催については、12月の東出杯で終了した。今後、場外車券の発売のほか、国有地の取得、新施設再整備に向けた現施設の除却を実施する予定である。
- ・来年度の千葉市営競輪については、施設の除却作業を実施するため千葉競輪場で開催できなくなることから、近隣の松戸競輪場、川崎競輪場を借り上げて開催する予定である。

(篠崎委員長)

売上げが予測を上回った要因は何か。

(JPF)

インターネット投票者向けの、キャッシュバックキャンペーンの効果が大きかったと考える。KEIRIN.JP 及びインターネット投票サイトと連携して、KEIRIN.JP の加入者にポイントバックとキャッシュバックを実施した。また、千葉の名産品と交換できるポイントバックを行い、千葉の PR にも貢献したと考えている。

(篠崎委員長)

効果が見込めるサービスは、積極的に推進してもらいたい。

(高岡委員)

併売場拡大について、もう少し説明願いたい。

(JPF)

現在、千葉競輪場は2場併売をしている。これは、1日に2つの競輪開催を発売可能なシステムである。このシステムを変更して、3場を発売可能なシステムに改修しようと考えている。

(高岡委員)

現状、2場併売であるというのを3場とする。つまり、1場分増やすという計画か。また、成田や市原は、他の公営競技を扱っているのか？

(JPF)

3場併売については、そのとおり。サテライトの他の公営競技取扱いについては、成田は中央競馬、地方競馬及びオートレース、市原は場外舟券場が併設されている。競輪ファン以外の方も来場可能な施設になっている。鴨川は競輪のみ。

(高岡委員)

設備の増設だが、関連して A 場、B 場、C 場に関して説明して頂きたい。

(事務局 鴻崎所長)

現状はバンクと反対側の投票所の頭上にテレビがあるが、バンク側のガラス張りの場所にテレビが5台ある。そこにA場、B場、C場のような形でエリア分けしてモニタの増設を検討している。

競技やオッズに関する情報を、スタンド席でモニタから視聴する形になる。

(高岡委員)

バンクに面している窓枠のところにモニタを30台以上増設するのか？

(JPF)

そのとおり。施設も本場開催がなくなった分、不要になったテレビを代用してもモニタが小さすぎて情報が確認できない所があり、新たに大きなテレビを設置する必要がある。

(高岡委員)

新しい競輪場の建設が進んでいくと思うが、メインスタンドを解体したり、一部改修する予定はあるのか？

(事務局 鴻崎所長)

まず競走路を取り壊し、そこに新競輪場を建設し完成までの間、メインスタンドを残して場外発売を継続する予定。3年近くは残る予定のため、メインスタンドを一部改修して、場外車券を3場発売する予定。全国的に3場併売する競輪場は少ないので、場外車券発売に力を入れていきたい。

(篠崎委員長)

従事員等の働く場や日数が増えるのか？

(JPF)

今のところ従来通りの予定。次年度の開催日程確定後に、従業員のシフトを検討する。

(篠崎委員長)

本場を閉鎖する事に伴って、今までとこれからでどのような変化があるのか？

(JPF)

多くのお客様に来場していただくために、GⅢ以上の場外開催で、定期的にイベントを実施していく。

(篠崎委員長)

議題2、その他について事務局から説明を求める。

(事務局 鴻崎所長)

- 競輪場の除却時期は未確定であるが、公営事業事務所、日本競輪選手会千葉支部、JPFの事務所については、場外発売を実施しない、1月29日から2月2日にかけて、メインスタンドに移転する。
- 情報公開の件で、司会から、本会議について非公開という話があった。今まで、議事録についても非公開で進めてきたが、市の情報を開示するというのは透明性確保の観点から望ましく、今後、会議は引き続き、非公開、議事録は開示としたい。ただし、会議で企業に対して不利益を与える項目があれば、その都度審議して議事録を非公開としたい。
- 次回の委員会の開催については、250競輪の事業予定者の審査終了後、日程を調整したい。

(篠崎委員長)

了承。